



今こそ自公政治の転換を！本気の野党共闘で総選挙勝利を一中之島6力所で

菊田まきこ衆院議員を囲むつどい

「何が何でもオリンピックを」の自公政権から国民の命を守る政治に転換を！



菊田まきこ衆院議員(中央)、遠藤れい子県議(右)

「何が何でもオリンピックを」の自公政権から国民の命を守る政治に転換を！

市民と野党の共闘で、新潟から政治の転換をすめよう

参加者からは「コロナで国の借金が多くなりさらに消費税が上がるのではないかと心配」「国民が苦しんでいる今、減税してほしい」など意見が次々に。

安倍・菅自公政権が続く異常な事態

政権のうそとごまかしに官僚が忖度しなければならず苦しんでいるという、国政のリアルな実態を報告。今、若い優秀な官僚が

菊田まきこ衆院議員は、安倍政権のもとで法人税が大きく減らされた。コロナ禍でも大企業は内部留保が莫大になっ

てい



追及する藤野議員

福井県の老朽原発再稼働問題で質問(藤野やすふみ衆院議員)

5月27日、衆院原子力特別委員会での質問。関電の原発マネー還流も問題ですが、老朽原発再稼働のために、政府が果たした役割です。

エネ庁幹部は、2019年4月〜21年2月に110回も福井県に出張している事実を指摘。再稼働に向けた「地ならし」です。

特に今年1月3日から(正月3ヶ日)が開ける前、2月12日までに、エネ庁幹部が福井県に16回も集中的に出張しています。

何のためか？それらの出張結果についての『出張報告書』の開示を要求しましたが出さ

我が家の玉ねぎ収穫！

タマネギを収穫しました。今年はどうがたつのではと心配でしたが大丈夫でした。立派なタマネギになりました。



としませんでした。

さらに、今回、老朽原発を再稼働したら25億円の交付金を交付する制度ができることになりませんが、その制度をいつ、誰が決めたのか？についての決済文書も要求しましたが、頑として出さずとしませんでした。

プロセスを開示できないやり方でしか動かせないのが原発だと、改めて実感しました。こんなエネルギー源に未来はありません。きっぱりやめるべきです。(藤野やすふみフェイスブックより)